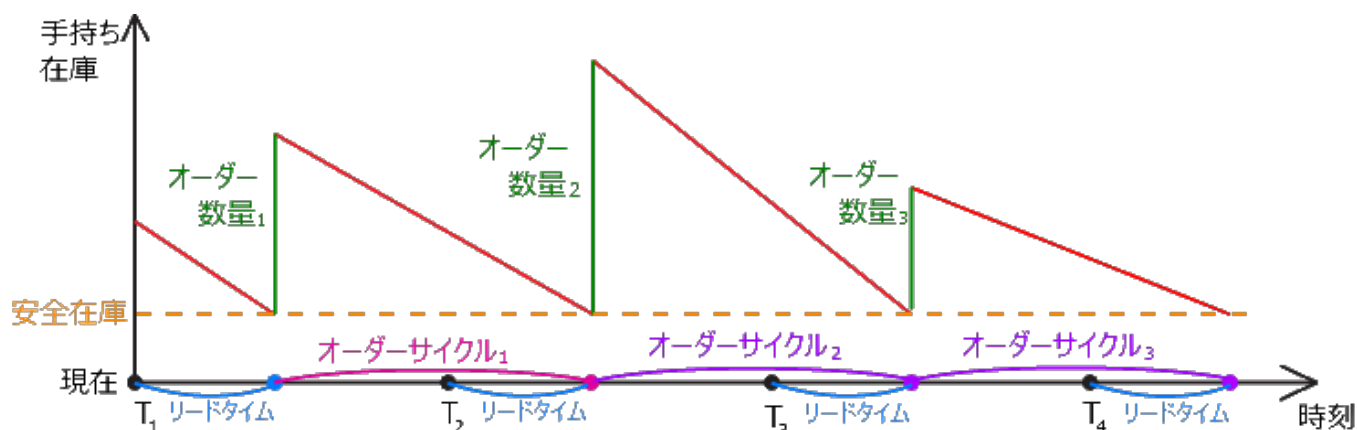


6.4. オーダー計画計算

GMDH Streamlineの オーダー立案処理は、設定された補充方式にかかわらずオーダーサイクルにて決定されます¹⁾。オーダー計画には、推奨数量、推奨オーダー日付が含まれます。

GMDHStreamlineでは、オーダー計画計算は、次の2手順で実行されます。第1手順では、今回のオーダー数量を計算します。この発注量は、最初のオーダーサイクル期間中の需要を満たす数量になります。第2手順では、次のオーダーサイクル期間中の発注量を計算します(下記の図を参照)。



T_i - Order qty_iとなる補充オーダーが作成された時点です。ここで $i = 1, \dots$

下記の文章にてGMDH Streamlineのオーダー計画と予測在庫水準計算方法を、場合別に学ぶことができます。:

- 一般的な在庫計画
- 2段階計画
- 資材所要量計画

次へ: 一般的な在庫計画

PDFダウンロード

¹⁾

翻訳者注釈: 一般的にミニマックス補充方式ではオーダーサイクルではなく発注点がオーダー作成の基準になります。しかしながらGMDH Streamlineでは、ミニマックス補充方式を利用しても、オーダーサイクルが利用されます。

From:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/> - GMDH Streamline Docs

Permanent link:

<https://gmdhsoftware.com/documentation-sl/ja:ordering-plan-calculation>

Last update: 2020/09/28 08:20

